

2021 年度 3 年生免疫応答学テュートリアル総括テスト

1. 不明熱の診療について誤っているものはどれか、1つ選べ。
 - a. 診断が決まるまで可能な限り治療は控える。
 - b. 医学の発展に伴って、最終的に診断不明となる患者の割合は減少しつつある。
 - c. 繰り返し問診と身体診察を行うことが重要である。
 - d. 得られた病歴および身体所見を基に検査をオーダーする。
 - e. 最終的に診断不明の患者の予後は良い。

2. 自己抗体について正しいものはどれか1つ選べ。
 1. 抗 CCP 抗体は、早期関節リウマチで特異度が高い。
 - b. 抗 Sm 抗体の力価は、SLE の活動性をよく反映する。
 - c. PR3-ANCA は、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)でも高率に認められる。
 - d. 抗セントロメア抗体は、抗 Scl-70 抗体と同一のものである。
 - e. 抗 JO-1 抗体陽性の皮膚筋炎では、間質性肺炎の合併はまれである。

3. 膠原病と類縁疾患の診断について正しいものはどれか、1つ選べ。
 - a. それぞれの診断基準に当てはめれば診断は容易である。
 - b. 大血管炎の活動性評価には FDG-PET が有用であるが、健康保険の適用はない。
 - c. ANCA 陽性だけでは ANCA 関連血管炎と診断できない。
 - d. 成人スティル病では血清フェリチン値上昇がなければ否定的である。
 - e. リウマチ性多発筋痛症は筋肉痛がなければ否定的である。

4. 副腎皮質ステロイド投与での副作用はどれか、2つ選べ。
 - a. 易感染症
 - b. 低血糖
 - c. 蛋白尿
 - d. 骨粗鬆症
 - e. 悪性腫瘍

5. Raynaud 現象を起こす頻度が高い疾患はどれか、2つ選べ。
 - a. 線維筋痛症
 - b. 大動脈炎症候群
 - c. 強皮症
 - d. 混合性結合組織病
 - e. ベーチェット病

6. ANCA が検出される疾患はどれか、2つ選べ。
- 巨細胞性動脈炎
 - 結節性多発動脈炎
 - 多発血管炎性肉芽腫症
 - クリオグロブリン血症性血管炎
 - プロピルチオウラシル(PTU)関連血管炎
7. 関節リウマチ診療について正しいものはどれか、1つ選べ。
- 寛解達成は困難である。
 - 関節破壊は晩期に起きる。
 - 炎症性サイトカインを直接阻害する治療がある。
 - 現在使用可能な生物学的製剤は抗 TNF α 抗体製剤のみである。
 - 有効性の高い薬剤は全て注射製剤である。
8. 関節リウマチ分類基準(2010 年)において基準項目に含まれないものはどれか、1つ選べ。
- CRP
 - 赤沈
 - リウマトイド因子
 - 抗 CCP 抗体
 - MMP-3
9. 全身性エリテマトーデス(SLE)の治療でヒドロキシクロロキンを用いるとき注意すべき副作用はどれか、2つ選べ。
- 網膜症
 - 帯状疱疹
 - 重症薬疹
 - 悪性腫瘍
 - 腎機能障害
10. 28 歳女性、発熱・関節痛・皮疹にて来院、精査の結果 SLE と診断された。この患者に対する説明として適切なものはどれか、1つ選べ。
- 関節痛が続けば関節が変形してくる可能性が高いです。
 - 妊娠は症状が安定するまで避けてください。
 - 今後妊娠を考慮するならばステロイド治療は避けたほうがいいです。
 - 今後新型コロナウイルスのワクチンは打てません。
 - 皮疹の改善のためにできるだけ日光浴をしてください。

11. 強皮症腎クリーゼについて正しいものはどれか、1つ選べ。

- a. 血管内皮障害により、著明な低血圧を生じる。
- b. レニン活性が低下する。
- c. 糸球体への免疫複合体沈着が特徴的である。
- d. 血栓性微小血管症(TMA)の原因となる。
- e. 大量ステロイドパルス療法が有用である。

12. 強皮症の診断に有用でない所見はどれか、1つ選べ。

- a. 手指腫脹
- b. 機械工の手
- c. Raynaud 現象
- d. 指尖陥凹癍痕
- e. 爪郭部毛細血管異常

13. 顕微鏡的多発血管炎について正しいものはどれか、2つ選べ。

- a. 肺胞出血を認めることがある。
- b. 腎組織では免疫複合体の沈着を伴った半月体形成性腎炎を認める。
- c. MPO-ANCA が陽性となる。
- d. ANCA 陰性であれば否定できる。
- e. ステロイド療法単独で寛解導入できることが多い。

14. 筋炎の関連抗体と病型・症状との組み合わせで正しいものはどれか、2つ選べ。

- a. 抗 ARS 抗体 CADM
- b. 抗 MDA5 抗体 機械工の手
- c. 抗 TIF1- γ 抗体 悪性腫瘍の合併
- d. 抗 Mi-2 抗体 間質性肺炎
- e. 抗 SRP 抗体 免疫介在性壊死性筋症

15. 混合性結合組織病 (MCTD)について誤っているものはどれか、2つ選べ。

- a. Raynaud 現象はほぼ全例にみられる。
- b. 腎不全になりやすい。
- c. 男女比はほぼ同数である。
- d. 抗 U1-RNP 抗体が陽性である。
- e. 肺高血圧症の合併は予後不良である。

16. サルコイドーシスで通常見られない所見はどれか、1つ選べ

- a. 皮疹
- b. 低カルシウム血症
- c. 眼病変
- d. ツベルクリン反応陰性
- e. 肺門リンパ節腫大

17. ベーチェット病について正しいものはどれか、1つ選べ。

- a. Raynaud 現象を伴う。
- b. 四肢の大関節炎を伴う。
- c. HLA-B27 保有率が高い。
- d. 眼病変として強膜炎を伴うことが多い。
- e. 眼発作には副腎皮質ステロイドの内服を第一選択にする。

18. 成人 Still 病においては認められるものはどれか、2つ選べ。

- a. 血清 IL-18 上昇
- b. MPO-ANCA 陽性
- c. 抗 DNA 抗体陽性
- d. フェリチン高値
- e. リウマトイド因子陽性

19. IgG4 関連疾患について正しいものはどれか、1つ選べ。

- a. Sjogren 症候群と同類の疾患と考えられる。
- b. 発熱が先行症状であることが多い。
- c. 抗核抗体が陰性であれば自己免疫性腭炎は除外できる。
- d. ステロイド治療で反応が見られない場合は診断を再考する。
- e. 治療抵抗性例には TNF α 阻害薬の投与を選択する。

20. アトピー性皮膚炎について正しいのはどれか、2つ選べ。

- a. 全ての患者で血中総 IgE が上昇する。
- b. 金属アレルギーは関与しない。
- c. 重症例ではしばしば一般的生化学検査値に異常が見られる。
- d. 成人患者では Kaposi 水痘様発疹症、伝染性膿痂疹を合併しやすい。
- e. 汗中に含まれるマラセチア分泌蛋白に対する即時型アレルギーを示すことがす

21. アレルギー性鼻炎について誤っているものはどれか、1つ選べ。

- a. I型アレルギー疾患である。
- b. くしゃみ鼻漏型ではヒスタミンの知覚神経への作用が大きい。
- c. 遅発相反応では主に好酸球浸潤によって鼻閉が引き起こされる。
- d. アレルゲン免疫療法を施行すると新たな抗原感作を予防することができる。
- e. 鼻噴霧用ステロイド薬は初期療法薬として推奨されている。

22. ループス腎炎の活動性を示す腎糸球体組織像として適切でないものはどれか、1つ選べ。

- a. ワイヤーループ病変
- b. 細胞性半月体形成
- c. 管内細胞増多
- d. ヒアリン血栓
- e. 分節性硬化

23. 接触皮膚炎について正しいのはどれか、2つ選べ。

- a. ステロイド外用剤は強力な抗炎症作用を有するため、接触皮膚炎を起こさない。
- b. 顔面に接触皮膚炎を認めた場合、化粧品以外に花粉の可能性も考えられる。
- c. 頻度の高い抗原物質としてニッケルやコバルトなどの金属が挙げられる。
- d. パッチテストの初回判定は1週間後である。
- e. 原因物質を推測するのに患者の職業は必要な情報ではない。

24. 食物アレルギーにおいて正しいものはどれか、1つ選べ。

- a. アトピー性皮膚炎とは関係ない。
- b. 消化管アレルギーではIgEを介して発症する。
- c. 口腔アレルギー症候群は乳児期から発症する。
- d. 即時型食物アレルギーの原因として最も多いのは鶏卵である。
- e. 食物依存性運動誘発アナフィラキシーは乳児期から発症する。

25. 小児のアレルギーについて正しいものはどれか、2つ選べ。

- a. 食物によるアナフィラキシーショックで、日本国内で年間50~60人程度が死亡する。
- b. 全身の膨疹と磨擦を認めた患者にエピペン(エピネフリン自己注射製剤)の筋注が必須である。
- c. エピネフリンの投与経路の第1選択は大腿への筋注である。
- d. アナフィラキシーショックへの対応として、下腿の挙上を行うことがある。
- e. アトピー性皮膚炎においてステロイド剤の使用は皮膚の色素沈着を引き起こす。

26. リウマチ性多発筋痛症について適切なものはどれか、1つ選べ。

- a. 若年者に好発する。
- b. 筋力低下が著明である。
- c. 抗 CCP 抗体が陽性となる。
- d. 筋原性酵素の上昇がみられる。
- e. 首・肩・骨盤帯の痛みとこわばりを来す。

27. Sjogren 症候群において認められるものはどれか、2つ選べ。

- a. 高ガンマグロブリン血症
- b. 乾燥性角膜炎
- c. 白血球数増加
- d. 血尿
- e. 外陰部潰瘍

28. 自己炎症性症候群について正しいものはどれか、1つ選べ。

- a. 自己炎症という疾患概念が提唱されてまだ 10 年経っていない。
- b. 遺伝性自己炎症性症候群の患者数は我が国では 10 人未満である。
- c. 感染症、リウマチ膠原病、腫瘍が否定された原因不明の炎症性疾患として認識される。
- d. 原因としては炎症性サイトカインが過剰産生されるインフラマソーム関連疾患のみで説明できる。
- e. 遺伝子検査体制は不十分であり保険適応の検査は存在しない。

29. 34 歳女性、ある疾患にて近医に長期通院、内服加療中であったが、数日前から 39 度の熱、呼吸困難感、下腿浮腫、血尿を認め救急車にて搬送された。入院後血痰認めたため胸部 CT 検査施行したところびまん性に肺胞出血認めた。血液検査で血清クレアチンの上昇認め、緊急透析となった。頸部甲状腺の腫大認める。この疾患で予想されるものはどれか、2つ選べ。

- a. MPO-ANCA 陽性
- b. 気管支喘息で近医通院中
- c. 副腎皮質ステロイド薬の副作用
- d. 腎生検で間質性腎炎の所見
- e. 抗甲状腺薬服用

30. 65歳男性、2ヶ月前から、手指関節、肘関節の伸側に角化性紅斑が出現し、背中に掻痒を伴う紅斑を認めた。1週間前から乾性咳嗽と微熱が出現し、病院を受診した。身体所見上は筋力低下なし。室内気でSpO₂96%であった。胸部Xpで両肺に散在するスリガラス陰影を認め、採血ではCPK正常範囲、血清抗MDA5抗体560indexと著明に上昇していた。この疾患の治療方針として適切なものはどれか、1つ選べ。

- a. 酸素投与のみで安静経過観察
- b. 抗生剤投与
- c. 高用量ステロイドパルスのみ
- d. カルシニューリン阻害薬のみ
- e. 高用量ステロイドパルス+カルシニューリン阻害薬+シクロフォスファミドパルス

31. 近所の幼なじみの女性から、2週間以上続く発熱があり、口内炎・関節痛・顔面紅斑、脱毛などからネットで調べたらSLEではないかと医学生であるあなたの所に相談してきました。SLEとはどんな病気で、どのように診断し、もし専門機関を受診しSLEとされたならば今後どのようなことに注意していけばいいかわかりやすく説明してあげてください。

雑記

問題形式は例年通り。過去問で見たことがある問題が多数。記述は過去問に掲載されているものはしっかり書けるようにしておくとい。

コアタイムの出席が厳しく、出席時間が足りないと本試験の受験資格を失うとテスト直前に発表があった。

追試者 13 人

2021 年度 3 年生免疫応答学 総括テスト解答

令和 4 年 2 月 18 日実施

今年も復習とする意味で模範解答を公開します。来年の学生の試験対策や今後の臨床実習および卒業試験などに生かしてください。またこれを機に自己免疫疾患などに興味をもっていただくと幸いです。

試験作成者代表 3 内科 廣田

- ・ 選択問題が各 3 点、記述問題が 10 点の計 100 満点で採点しました。
- ・ テスト平均点は 72.4 点で最高点は 93 点でした。
- ・ 例年のことですが、2 つ選べの設問を 1 つしか答えていない例、あるいは 1 つ選べの設問に 2 つ解答がある例が散見されました（もちろん 2 つとも正解でないと不正解です）。
- ・ 今回は Web 中心の授業となりましたので出席点はなくテスト 80%、レポート・チュートリアル評価 20%で換算して合計 60 点以上を合格としました。
- ・ 残念ながら 13 人は上記合計にて合格に達しませんでした（ちなみにテストのみでは 13 人が不合格でしたが、レポートで 1 人を合格にしました。なおテスト点数では合格でしたが、レポートで不合格となったものが 1 人いました。）ので学務からの通知にしがたい再試験を予定します（別紙通知）。
- ・ 各設問のところに正答率を記載しましたのでご自身の解答と照らし合わせて復習してください。疑問点があれば 3 内科によってください（答えられる範囲ですが、...）。
- ・ 今後のチュートリアルも頑張ってください。また臨床実習でお会いできますことを楽しみにしております。

番号 _____ 氏名 _____

1. 不明熱の診療について誤っているものはどれか、1つ選べ。 正答率 5.9%
 - a. 診断が決まるまで可能な限り治療は控える。
 - Ⓓ. 医学の発展に伴って、最終的に診断不明となる患者の割合は減少しつつある。
 - c. 繰り返し問診と身体診察を行うことが重要である。
 - d. 得られた病歴および身体所見を基に検査をオーダーする。
 - e. 最終的に診断不明の患者の予後は良い。

2. 自己抗体について正しいものはどれか、1つ選べ。 正答率 67.3%
 - Ⓓ. 抗CCP抗体は、早期関節リウマチで特異度が高い。
 - b. 抗Sm抗体の力価は、SLEの活動性をよく反映する。
 - c. PR3-ANCAは、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)でも高率に認められる。
 - d. 抗セントロメア抗体は、抗Scl-70抗体と同一のものである。
 - e. 抗Jo-1抗体陽性の皮膚筋炎では、間質性肺炎の合併はまれである。

3. 膠原病と類縁疾患の診断について正しいものはどれか、1つ選べ。 正答率 94.1%
 - a. それぞれの診断基準に当てはめれば診断は容易である。
 - b. 大血管炎の活動性評価にはFDG-PETが有用であるが、健康保険の適用はない。
 - Ⓒ. ANCA陽性だけではANCA関連血管炎と診断できない。
 - d. 成人スティル病では血清フェリチン値上昇がなければ否定的である。
 - e. リウマチ性多発筋痛症は筋肉痛がなければ否定的である。

4. 副腎皮質ステロイド投与での副作用はどれか、2つ選べ。 正答率 95.0%
 - Ⓓ. 易感染症
 - b. 低血糖
 - c. 蛋白尿
 - Ⓔ. 骨粗鬆症
 - e. 悪性腫瘍

5. Raynaud現象を起こす頻度が高い疾患はどれか、2つ選べ。 正答率 97.0%
 - a. 線維筋痛症
 - b. 大動脈炎症候群
 - Ⓒ. 強皮症
 - Ⓔ. 混合性結合組織病
 - e. ペーチェット病

6. ANCA が検出される疾患はどれか、2つ選べ。 正答率 87.1%
- a. 巨細胞性動脈炎
 - b. 結節性多発動脈炎
 - c. 多発血管炎性肉芽腫症
 - d. クリオグロブリン血症性血管炎
 - e. プロピルチオウラシル (PTU) 関連血管炎
7. 関節リウマチ診療について正しいものはどれか、1つ選べ。 正答率 62.4%
- a. 寛解達成は困難である。
 - b. 関節破壊は晩期に起きる。
 - c. 炎症性サイトカインを直接阻害する治療がある。
 - d. 現在使用可能な生物学的製剤は抗 TNF α 抗体製剤のみである。
 - e. 有効性の高い薬剤は全て注射製剤である。
8. 関節リウマチ分類基準 (2010 年) において基準項目に含まれないものはどれか、1つ選べ。 正答率 42.6%
- a. CRP
 - b. 赤沈
 - c. リウマトイド因子
 - d. 抗 CCP 抗体
 - e. MMP-3
9. 全身性エリテマトーデス (SLE) の治療でヒドロキシクロロキンを用いるとき注意すべき副作用はどれか、2つ選べ。 正答率 10.9%
- a. 網膜症
 - b. 帯状疱疹
 - c. 重症薬疹
 - d. 悪性腫瘍
 - e. 腎機能障害
10. 28 歳女性、発熱・関節痛・皮疹にて来院、精査の結果 SLE と診断された。この患者に対する説明として適切なものはどれか、1つ選べ。 正答率 96.0%
- a. 関節痛が続けば関節が変形してくる可能性が高いです。
 - b. 妊娠は症状が安定するまで避けてください。
 - c. 今後妊娠を考慮するならばステロイド治療は避けたほうがいいです。
 - d. 今後新型コロナウイルスのワクチンは打てません。
 - e. 皮疹の改善のためにできるだけ日光浴をしてください。

- 1 1. 強皮症腎クリーゼについて正しいものはどれか、1つ選べ。 正答率 34.7%
- a. 血管内皮障害により、著明な低血圧を生じる。
 - b. レニン活性が低下する。
 - c. 糸球体への免疫複合体沈着が特徴的である。
 - d. 血栓性微小血管症 (TMA) の原因となる。
 - e. 大量ステロイドパルス療法が有用である。
- 1 2. 強皮症の診断に有用でない所見はどれか、1つ選べ。 正答率 65.3%
- a. 手指腫脹
 - b. 機械工の手
 - c. Raynaud 現象
 - d. 指尖陥凹瘢痕
 - e. 爪郭部毛細血管異常
- 1 3. 顕微鏡的多発血管炎について正しいものはどれか、2つ選べ。 正答率 84.2%
- a. 肺泡出血を認めることがある。
 - b. 腎組織では免疫複合体の沈着を伴った半月体形成性腎炎を認める。
 - c. MPO-ANCA が陽性となる。
 - d. ANCA 陰性であれば否定できる。
 - e. ステロイド療法単独で寛解導入できることが多い。
- 1 4. 筋炎の関連抗体と病型・症状との組み合わせで正しいものはどれか、2つ選べ。 正答率 36.6%
- a. 抗 ARS 抗体 CADM
 - b. 抗 MDA5 抗体 機械工の手
 - c. 抗 TIF1- γ 抗体 悪性腫瘍の合併
 - d. 抗 Mi-2 抗体 間質性肺炎
 - e. 抗 SRP 抗体 免疫介在性壊死性筋症
- 1 5. 混合性結合組織病 (MCTD) について誤っているものはどれか、2つ選べ。 正答率 69.3%
- a. Raynaud 現象はほぼ全例にみられる。
 - b. 腎不全になりやすい。
 - c. 男女比はほぼ同数である。
 - d. 抗 U1-RNP 抗体が陽性である。
 - e. 肺高血圧症の合併は予後不良である。

16. サルコイドーシスで通常見られない所見はどれか、1つ選べ。 正答率 96.0%
- a. 皮疹
 - Ⓐ. 低カルシウム血症
 - c. 眼病変
 - d. ツベルクリン反応陰性
 - e. 肺門リンパ節腫大
17. ペーチェット病について正しいものはどれか、1つ選べ。 正答率 82.2%
- a. Raynaud 現象を伴う。
 - Ⓐ. 四肢の大関節炎を伴う。
 - c. HLA-B27 保有率が高い。
 - d. 眼病変として強膜炎を伴うことが多い。
 - e. 眼発作には副腎皮質ステロイドの内服を第一選択にする。
18. 成人 Still 病においては認められるものはどれか、2つ選べ。 正答率 97.0%
- Ⓐ. 血清 IL-18 上昇
 - b. MPO-ANCA 陽性
 - c. 抗 DNA 抗体陽性
 - Ⓓ. フェリチン高値
 - e. リウマトイド因子陽性
19. IgG4 関連疾患について正しいものはどれか、1つ選べ。 正答率 92.1%
- a. Sjogren 症候群と同類の疾患と考えられる。
 - b. 発熱が先行症状であることが多い。
 - c. 抗核抗体が陰性であれば自己免疫性膵炎は除外できる。
 - Ⓐ. ステロイド治療で反応が見られない場合は診断を再考する。
 - e. 治療抵抗性例には TNF α 阻害薬の投与を選択する。
20. アトピー性皮膚炎について正しいのはどれか、2つ選べ。 正答率 90.1%
- a. 全ての患者で血中総 IgE が上昇する。
 - b. 金属アレルギーは関与しない。
 - c. 重症例ではしばしば一般的生化学検査値に異常が見られる。
 - Ⓐ. 成人患者では Kaposi 水痘様発疹症、伝染性膿痂疹を合併しやすい。
 - Ⓔ. 汗中に含まれるマラセチア分泌蛋白に対する即時型アレルギーを示すことが多い。

21. アレルギー性鼻炎について誤っているものはどれか、1つ選べ。 正答率 55.4%
- a. I型アレルギー疾患である。
 - b. くしゃみ鼻漏型ではヒスタミンの知覚神経への作用が大きい。
 - c. 遅発相反応では主に好酸球浸潤によって鼻閉が引き起こされる。
 - d. アレルゲン免疫療法を施行すると新たな抗原感作を予防することができる。
 - Ⓔ. 鼻噴霧用ステロイド薬は初期療法薬として推奨されている。
22. ループス腎炎の活動性を示す腎糸球体組織像として適切でないものはどれか、1つ選べ。 正答率 22.8%
- a. ワイヤーループ病変
 - b. 細胞性半月体形成
 - c. 管内細胞増多
 - d. ヒアリン血栓
 - Ⓔ. 分節性硬化
23. 接触皮膚炎について正しいのはどれか、2つ選べ。 正答率 100%
- a. ステロイド外用剤は強力な抗炎症作用を有するため、接触皮膚炎を起こさない。
 - Ⓔ. 顔面に接触皮膚炎を認めた場合、化粧品以外に花粉の可能性も考えられる。
 - Ⓕ. 頻度の高い抗原物質としてニッケルやコバルトなどの金属が挙げられる。
 - d. パッチテストの初回判定は1週間後である。
 - e. 原因物質を推測するのに患者の職業は必要な情報ではない。
24. 食物アレルギーにおいて正しいものはどれか、1つ選べ。 正答率 94.1%
- a. アトピー性皮膚炎とは関係ない。
 - b. 消化管アレルギーではIgEを介して発症する。
 - c. 口腔アレルギー症候群は乳児期から発症する。
 - Ⓔ. 即時型食物アレルギーの原因として最も多いのは鶏卵である。
 - e. 食物依存性運動誘発アナフィラキシーは乳児期から発症する。
25. 小児のアレルギーについて正しいものはどれか、2つ選べ。 正答率 86.1%
- a. 食物によるアナフィラキシーショックで、日本国内で年間50~60人程度が死亡する。
 - b. 全身の膨診と痒疹を認めた患者にエピペン（エピネフリン自己注射製剤）の筋注が必須である。
 - Ⓔ. エピネフリンの投与経路の第1選択は大腿への筋注である。
 - Ⓕ. アナフィラキシーショックへの対応として、下腿の挙上を行うことがある。
 - e. アトピー性皮膚炎においてステロイド剤の使用は皮膚の色素沈着を引き起こす。

26. リウマチ性多発筋痛症について適切なものはどれか、1つ選べ。 **正答率 95.0%**

- a. 若年者に好発する。
- b. 筋力低下が著明である。
- c. 抗 CCP 抗体が陽性となる。
- d. 筋原性酵素の上昇がみられる。
- e. 首・肩・骨盤帯の痛みとこわばりを来たす。

27. Sjogren 症候群において認められるものはどれか、2つ選べ。 **正答率 94.1%**

- a. 高ガンマグロブリン血症
- b. 乾燥性角膜炎
- c. 白血球数増加
- d. 血尿
- e. 外陰部潰瘍

28. 自己炎症性症候群について正しいものはどれか、1つ選べ。 **正答率 82.2%**

- a. 自己炎症という疾患概念が提唱されてまだ10年経っていない。
- b. 遺伝性自己炎症性症候群の患者数は我が国では10人未満である。
- c. 感染症、リウマチ膠原病、腫瘍が否定された原因不明の炎症性疾患として認識される。
- d. 原因としては炎症性サイトカインが過剰産生されるインフラマソーム関連疾患のみで説明できる。
- e. 遺伝子検査体制は不十分であり保険適応の検査は存在しない。

29. 34歳女性、ある疾患にて近医に長期通院、内服加療中であつたが、数日前から39度の発熱、呼吸困難感、下腿浮腫、血尿を認め救急車にて搬送された。入院後血痰認めため胸部CT検査施行したところびまん性に肺胞出血認めた。血液検査で血清クレアチニン、炎症反応の上昇認め、緊急透析となつた。頸部甲状腺の腫大認める。

この疾患で予想されるものはどれか、2つ選べ。

正答率 98.0%

- a. MPO-ANCA 陽性
- b. 気管支喘息で近医通院中
- c. 副腎皮質ステロイド薬の副作用
- d. 腎生検で間質性腎炎の所見
- e. 抗甲状腺薬服用

30. 65歳男性、2ヶ月前から、手指関節、肘関節の伸側に角化性紅斑が出現し、背中に掻痒を伴う紅斑を認めた。1週間前から乾性咳嗽と微熱が出現し、病院を受診した。身体所見上は筋力低下なし。室内気でSpO₂ 96%であつた。胸部Xpで両肺に散在するスリガラス陰影を認め、採血ではCPK正常範囲、血清抗MDA5抗体560indexと著明に上昇していた。

この疾患の治療方針として適切なものはどれか、1つ選べ。

正答率 81.2%

- a. 酸素投与のみで安静経過観察
- b. 抗生剤投与
- c. 高用量ステロイドパルスのみ
- d. カルシニューリン阻害薬のみ
- e. 高用量ステロイドパルス+カルシニューリン阻害薬+シクロフォスファミドパルス

31. 近所の幼なじみの女性から、2週間以上続く発熱があり、口内炎・関節痛・顔面紅班・脱毛などからネットで調べたらSLEではないかと医学生であるあなたの所に相談してきました。SLEとはどんな病気で、どのように診断し、もし専門機関を受診しSLEとされたならば今後どのようなことに注意していけばいいかわかりやすく説明してあげてください。

記述の採点について

- ・ 全くの白紙あるいはSLEの診断基準などかかれていても間違っているものには点数はあげられません。
- ・ SLEの病態・診断・今後の注意について書いていけば2点ずつ計6点差上げました。診断基準を書いていなくても要点があっていればOKとしました。
- ・ 今回の最大の評価点は患者（素人）に対して分かりやすく説明できているかです（今後医師として患者と向き合うこととなりますが、患者への説明において信頼を得るには非常に重要な点となります！）。不安に思っている患者に対して医学用語を羅列せず分かりやすく砕いて説明できているか、今後につき適切なアドバイスを与えているかを評価しました。よってSLEについてただ単に説明している記載はどんなに詳しく書かれていても最大6点です。

平均 6.03 点